

こっこめ通信 03 2008

「島の風」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

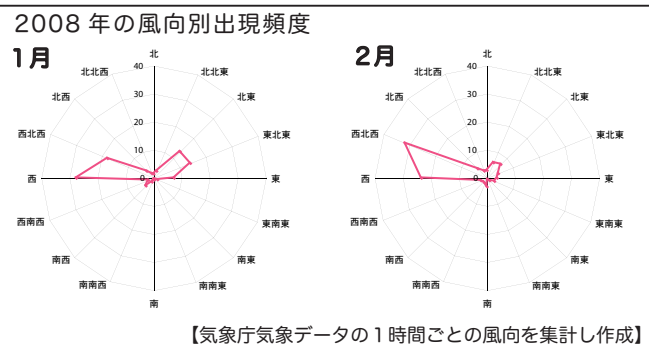
先月紹介したヒサカキ、モチノキ、ヒメユズリハ、オオバヤシャブシと木々の花たちは順調に咲いています。しかし寒さのせいでしょうか地面付近の草花たちの咲き始めが少し遅いようです。日は延びてきているので、もう少し暖かくなると一気に咲き始めることでしょう。また、園内のオオシマザクラの花もポツポツと咲き始め、ナナホシテントウなど虫の姿も見かけるようになってきています。少しずつ春が近づいてきていますね。

さて、今回は「ちょっと変？この冬の天候」「島の猛禽類事情」についてのお話です。

ちょっと変？この冬の天候

例年この時期、島では西寄りの風が強く吹きます（レーダーチャート下）。しかしこの冬は少し北寄りになる傾向があるようです（レーダーチャート上）。

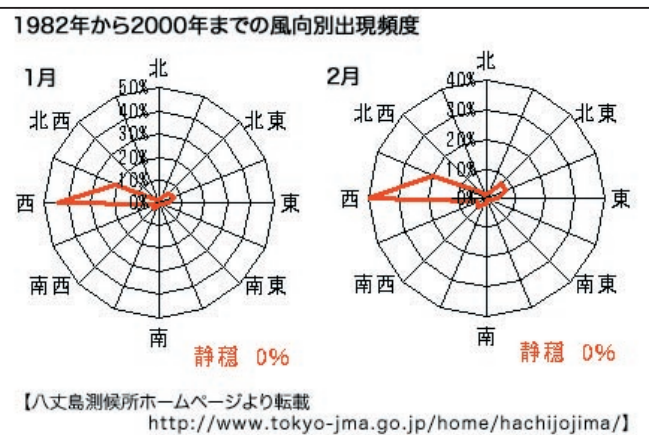
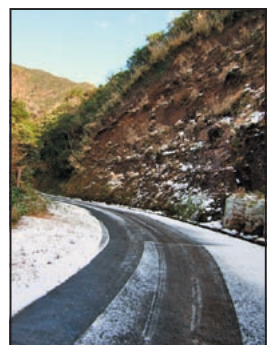
特に1月は北東の風の割合が多く、海況が安定しませんでした。その為、本来なら波の影響を受けにくい東側の港にも影響が及び、定期船の欠航が多くなりました。レーダーチャートでは分かりにくいですが、2月に入っても北西の風から北東に回ることがあり、西側が安定する前に東側が時化してしまう状態がありました。海の状態が良くないのでダイビングや釣りなどの観光や漁業にも影響が出ているようです。



2月はあられや雪の舞う日が何度もありました。24日までに気象庁発表の天気概況であられや雪の記録が6日もありました。特に18日明け方には降雪があり、三原山や八丈富士が遠くからでも白くなっているのが分かりました(写真上)。三原山頂部付近へ行ってみると道路にタイヤの跡がはっきりと残るほど積もっていましたね(写真下)。昨年は積雪がなかったので2年ぶりの積雪になります。

また気温も低く、24日までのデータで2月の日平均気温が8.5℃、例年が11℃前後なのでかなり寒い年であることが分かります。そして、降水量も少なく、空気も乾燥気味で風邪をひいてる人も多いですね。寒い地域の方からはお叱りを受けそうですが…。

でも、この寒さで今年のソメイヨシノは蕾がたくさんあります。満開のお花見できることを密かに期待しています。



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

島の猛禽類事情

猛禽とはタカ目に属する鳥とフクロウ目に属する鳥の総称として使われます。島には冬鳥として渡ってくるものがほとんどで、フクロウ目のアオバズクだけ夏鳥として島の中で繁殖が確認されています。しかし年により渡ってくる種や個体数がまったく違い、今シーズンはタカ目が多く、フクロウ目は少なかったです。

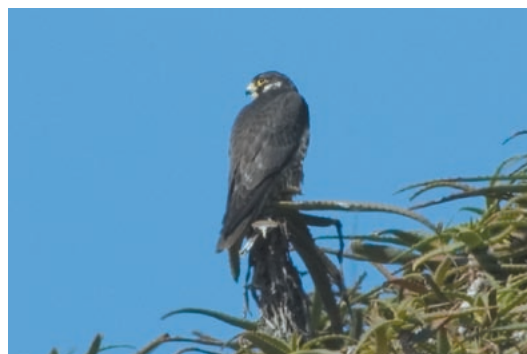


6枚の写真は今シーズン撮影したタカ目の猛禽類たちです。猛禽は眼が良く、あまり近づけないので撮影が大変です。また、飛翔している時もあるという間に上昇するので苦労しました。



撮影：沖山美枝子さん

さて、6枚の画像は「チョウゲンボウ」「オオタカ」「ハヤブサ」「ノスリ」「トビ」「ミサゴ」です。



どれがどの鳥かわかりますか？答えは最後のページにあります。（ホームページではカラーで画像が確認できます）



撮影：沖山美枝子さん

左中・左下はビジターセンターボランティアの沖山美枝子さんの撮影です。

八丈島での猛禽類（タカ目・フクロウ目）の記録

				S	N	V
タカ目	タカ科	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus haliaetus</i>	●	●	●
		トビ	<i>Milvus migrans lineatus</i>	●	●	●
		オジロワシ	<i>Haliaeetus albicilla albicilla</i>		●	●
		オオタカ	<i>Accipiter gentilis fujiyamae</i>		●	●
		アカハラダカ	<i>Accipiter soloensis</i>			●
		ツミ	<i>Accipiter gularis gularis</i>		●	●
		ハイタカ	<i>Accipiter nisus nisosimilis</i>		●	●
		ノスリ	<i>Buteo buteo japonicus</i>	●	●	●
		サシバ	<i>Butastur indicus</i>	●	●	●
		ハイイロチュウヒ	<i>Circus cyaneus cyaneus</i>		●	
フクロウ目	フクロウ科	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus japonensis</i>	●	●	●
		コチョウゲンボウ	<i>Falco columbarius insignis</i>		●	
		チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus interstinctus</i>	●	●	●
		トラフズク	<i>Asio otus otus</i>		●	●
		コミミズク	<i>Asio flammeus flammeus</i>	●	●	●
		オオコノハズク	<i>Otus lempiji semitorques</i>		●	●
		アオバズク	<i>Ninox scutulata japonica</i>	●	●	●
		フクロウ	<i>Strix uralensis fuscescens</i> ?		●	

左の記録は、下のデータを元に作成しています。学名は「日本鳥類学会日本鳥類目録改訂第6版」に準じています。

S：高木真一ほか。
八丈島の鳥類2年間の記録。
1986.Strix5:74-79

N：磯部清一。
伊豆諸島の鳥類。
1990. 日本の生物 4(2)：12-19

V：ビジターセンターでの記録。
(1992.10～2008.2)

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は2月10日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成20年第2回）参加者・黒田、沖山、菊池昭、V.C. 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			木本		
1	アオノクマタケラン	まだ赤い実が目立つ	1	オオバヤシャブシ	雄花の蕾
2	アキノノゲシ	蕾	2	ガクアジサイ	実
3	イワニガナ	花	3	カジイチゴ	咲き始め
4	ウスベニニガナ	花と実	4	タイミンタチバナ	蕾
5	オオアレチノギク	蕾	5	ヒサカキ	花
6	オオシマカンズグ	雌花が目立つ	6	ホルトノキ	実が残る
7	オオバコ	花	7	モチノキ	咲き始め
8	オニタビラコ	花	8	ヤツデ	実
9	キランソウ	花	9	ヤブツバキ	花、盛り
10	コセンダングサ	花と実	シダ植物		
11	シチトウスミレ	花	1	オオタニワタリ	
12	シロノセンダングサ	花と実	2	オニヤブソテツ	
13	スズメノカタビラ	花	3	カニクサ	
14	タネツケバナ	花と実	4	コハナヤスリ	
15	チチコグサモドキ	花	5	タチクラマゴケ	
16	ツルソバ	花と実	6	タチシノブ	
17	ツルマオ	実	7	タマシダ	
18	ツワブキ	花と実	8	トラノオシダ	
19	トキワハゼ	花	9	ナチシケシダ	
20	ノミノフスマ	花	10	ナンカイイタチシダ	
21	ハキダメギク	花	11	ノキシノブ	
22	ハチジョウアザミ	花と実	12	ハチジョウカナワラビ	
23	ハルジオン	咲き始め	13	ハチジョウシダ	
24	ヒメクグ	実	14	ヒトツバ	
25	フウトウカズラ	熟した実	15	ホシダ	
26	ベニバナボロギク	花	16	ホラシノブ	
27	ヘビイチゴ	花と実	17	マメヅタ	
28	ムラサキカタバミ	花	18	ヤマイタチシダ	

今回はシダ植物18種を含め、55種の植物を観察しました。冬枯れの季節で種数は少ないですが、春が近いことを感じさせる花も見られました。

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、公園内でも鳴き声が聞こえる「アオバズク」にスポットを当ててみたいと思います。



アオバズク

Ninox scutulata japonica

フクロウ科。夏鳥として島に渡ってきますが、冬にも見られる不思議な鳥です。（留鳥として島に留まっているのかは不明）

「ホッポー・ホッポー」と繰り返し鳴きます。蛾などの虫を食べるため、外灯近くの電線などで見かけることもあります。

左の写真は、幼鳥を一時保護した時に撮影したものです。

2008 八丈ビジターセンター 3 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
 30 ガイドウォーク 春の特別行事 「植物公園でお花見」 07 : 52 17 : 05	31			 この色の日 特別行事があります		1 ガイドウォーク 08 : 38 18 : 25
2 ガイドウォーク 07 : 23 20 : 01	3	4	啓蟄 5	6	7	 8 ガイドウォーク 05 : 49 11 : 38 17 : 42 23 : 57
9 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 06 : 11 12 : 11 18 : 26	10	11	12	13	 14	15 ガイドウォーク 08 : 09 17 : 52
16 ガイドウォーク 04 : 12 19 : 37	17	18	19	春分 20 ガイドウォーク	21	 22 ガイドウォーク 八文学講座 「春の植物観察会」 05 : 26 11 : 32 17 : 47 23 : 42
23 ガイドウォーク 05 : 43 11 : 58 18 : 23	24	25	26	27	28	29 ガイドウォーク 01 : 54 07 : 37 15 : 37

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
3 / 9 (13 : 30 ~ 約1時間半)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八文学講座 「春の植物観察会」

毎月行っている八文学講座。今月は、ホテル水路で春の植物を一緒に探しましょう！
3 / 22 (13 : 30 ~ 約1時間半)
中学生以上 鴨川ホテル水路 集合・解散 参加費：100円 定員：15名

春の特別行事 「植物公園でお花見」

日本の森のオオシマザクラの下でクッキー＆お茶でお花見をしましょう！太鼓もあるよ！
3 / 30 (13 : 30 ~ 約1時間半)
だれでも 植物公園（日本の森）集合・解散 参加費：200円 定員：20名

ビデオプログラム

10 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち

11 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

14 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

15 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

16 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2008.3.1 第82号

開館時間 9 : 00 ~ 16 : 45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

（ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます）

編集後記

2ページ目の写真の答えは、左上から下へ「トビ」「オオタカ」「ノスリ」、右上から下へ「ミサゴ」「ハヤブサ」「チョウゲンボウ」です。
今年は公園周辺の上空で旋回している姿が多く見られ、窓際にはいつでも観察できるよう双眼鏡が置きっぱなしにしています。（高）